

保健センターだより

～2021年春夏号・胸部エックス線検査について～

春の健診シーズン到来です！（注：今年度の詳細はHPを確認を）

こんにちは！保健センターです。

例年、春は大規模な学生健診が予定され、その中に「胸部エックス線撮影」という項目が含まれている場合があります。これは、法律や学内規定に基づいて実施されているのですが、この検査では、どんな事がわかるか知っていますか？



早期発見が重要！

特に自覚症状がないから大丈夫という事はなく、「気胸」や「肺炎」、まれに重篤な疾患が潜んでいることもあります。



感染リスクがある「結核」は過去の病気ではありません。自分が感染源となって他の方にうつし、接触者の調査が必要になる事があり、早期発見がとても重要です。早いうちであれば、薬で感染拡大を防ぐ事も可能です。

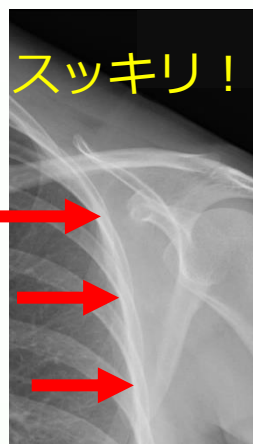
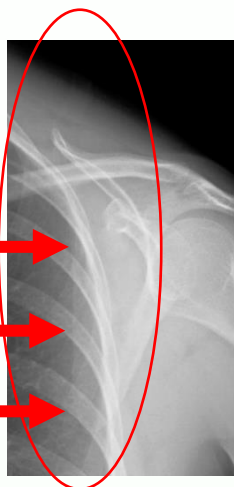
自分の為にも、大学のコミュニティを守る為にも、**健診は必ず受けましょう！**

撮影のポイント



腕を腰につける事もあります

肩甲骨

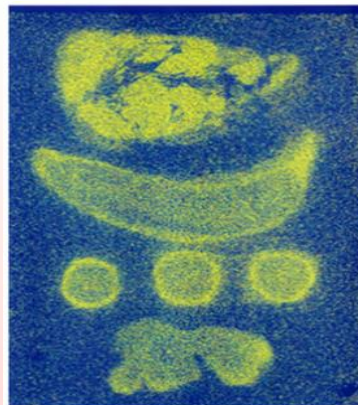


胸をしっかりと板につけて、肩甲骨をできるだけ前に出す事で、肺と肩甲骨の重なりが外れ、肺の中が観察しやすくなります。また、息を大きく吸う事で肺が膨らみ、肺の中の様子が観察しやすくなります。反対に吸い方が不十分だと、心臓が大きく写り、心拡大などの異常所見が見つくことがあるので、気をつけましょう。

被ばくが心配という方へ

私達は日頃から、食べ物や石、植物などの他、大地や宇宙からの放射線をうけて暮らしており、実は放射線は身近な存在だったりします。

また、保健センターでのX線検査は、その人に必要な最低限の量を、必要な所にだけ絞って撮影している為、その影響が確認出来ないほど低い線量です。撮影による被ばくの影響を心配するよりも、体の状態を把握出来るメリットが大きく、重要な検査の一つであり、検査を受けない場合には、病気の発見が遅れるというリスクが生じます。



← 豚肉

← バナナ

← バナナ
(輪切り)

← しょうが

環境庁HPより

食品に含まれる、カリウム40のベータ線の分布